

定例会議1月分（権利擁護・福祉の倫理・虐待防止）の感想

本日の定例会は、権利擁護・福祉の倫理・虐待防止について学びました。
久々に話しを聞き勉強になりましたし、自身の気持ちの再確認が出来ました。

愚行権の行使は本当に難しいですね

ご利用者さまの自由意志(基本的人権)の侵害にならず、道理的責任を果たしたと明示できる行動や会議を記録に残すこと、議論そのものが福祉への貢献として大切だと思いました。

「本人の意思を尊重 と 心身の状態および生活の状況の保護とのバランス」ってほんとモヤモヤで悩みます。

以前、糖尿の利用者さまにお砂糖は禁物とわかっているけど、コーヒーの砂糖を足して足してと何度も言われると、家族ではないので止める事が難しい。昼食で飲まれるので、やっぱり'美味しい'と喜んでいただきたいなと思いながら、スプーンの1杯量を減らし気味にいれてました。それが、いいのか？どうなのか…今もモヤモヤです。

こんな事例いっぱいありますが、ガチガチに守られても楽しみがない気がしました。支援ってやはり難しいなと思います。

日々関わるヘルパーが虐待防止、抑制に役に立てること、30件に1件くらいの割合で発見があることを聞き、少しでも気になる事があれば、サ責に報告しようと改めて思いました。パーソンセンタードケアに努めます。

虐待について、いつも気になっている事なのですが、同時に非常に微妙な意味合いも含んでおり、結論が出ていません。

また、愚行権ということばを初めて知りました。

プライベートで、まさに夫の介護をする上で、悩んでいる事です。歳も歳であり(73歳)、肝臓、腎臓の機能が落ちているのに、酒がやめられないのです。

夫は酒癖も悪くなく、毎日、酒と美味しいアテがあれば機嫌よく暮らしています。

その人から、アルコールを取り上げる事がはたして、良い事なのか？

でも長生きもして欲しい。

結論は出ません。

今、担当している利用者様には、おられないのですが、我が家の問題として重く受け止めています。

愚行権を初めて知りました。将来の健康は見えないので私もコントロールが難しいです。今後は少しですが愚行を意識して生活したいと思います。

支援現場でしりえた情報を知らない事にする事。認識。

定例会議1月分（権利擁護・福祉の倫理・虐待防止）の感想

利用者様に寄り添った支援をするのは基本ですが、利用者様の思いを全て聞き入れるのは難しい時もあり、サ責に相談をしたり臨機応変に対処していかなければと思いました。

虐待防止、抑止できるようにその他利用者様が生き方生活しやすいよう尊重しお手伝いできるよう努めます。

愚行、愚行権について、その時に応じてのバランスを考え利用者さんの支援したいと思いました。本当に答えはない！ということが辛いと思いました。

支援に入る時は、親しき仲にも礼儀あり！を忘れずに！
愚行権！初めて聞きました。
利用者さんが、食べられない、食品やお菓子を毎日買って来られます。
まとめてら、お聞きして処分しますが、思わず、もったいないね！と声が出ますが、誰にも迷惑を掛けていないし、自己満足の為には必要なことなんですね！

ヘルパーがどこまで介入できるかの線引きの事例を知れた事は貴重な学びです。今後こんな事があれば手順に従い上司に報告して解決出来たら良いなと思った。

愚行権という言葉を知りました。正解はないと言うのが何より難しいですが、その時の状況でちゃんと判断しようと思いました。

後見人の仕事はとても難しいと思いました。本人の意思も大事ですし生活の事も大事なのでバランスを取りつつ解決していくのは本当に大変だなと思いました。私には出来ないと思います。

年々虐待などの規制が厳しくなっているので、些細な事でも虐待になり得る時代ですので気をつけて支援を行わないといけないと思いました。

愚行権、後見人等、介護福祉士の勉強の時に、勉強しました愚行権の例の時、昼間働いてる施設での事が、浮かびました

支援現場の利用者様の情報など漏らさない様に日々気をつけてますがこれからも気をつけて支援に入ります。

もし虐待かなと感じたらサ責に相談します。ご利用者さんと信頼関係が築けるように努力します。

定例会議1月分（権利擁護・福祉の倫理・虐待防止）の感想

今回の定例会議で、親しき中にも礼儀ありを聞いて気を付けようと思いました。
お金の扱いで残高を確認する時、本人にちゃんとズレずある事は伝えてはいましたが確認を一緒にしていなかったので次から気を付けようと思いました。
もし疑いがあったり虐待が見えたりしたら、管理者、サ責さんに伝えようと思いました。

支援中いろいろ気づく事がありますが、触れていいのか悩みます、利用者様との信頼関係が大事だと思いました。

今は技術が進んでいるので、割り切れない問題はAI技術で解決出来ない物かと～一瞬思いました。

今まで虐待を見つけたことはありませんが、注意しておかなければならないと思います。
愚行権は、本人の意思とのバランスを考えて検討しなければならないということが、難しいと感じました。

虐待について、5つ、しっかり覚えます。
愚行権、後継人について、本人の意思の尊重と矛盾する事が、ケースバイケースで、複雑だなとおもいました。

今日の研修は、とても、難しく、わかりにくかったです。
とにかく、支援にあたるヘルパーが、利用者さんの生活、環境を考え、本人の同意のもと、過ごしやすいように支えていくことが、必要かなと思いました。
研修ありがとうございました。

虐待の事件がテレビでもニュースになります。
日常の介護の中で気持ちを抑えられなくなることもあるかと思います。でも暴力はだめです。しかし、心理的や経済的、放棄はなかなかわかりにくいものですが、気が付けば何とかしなければと思います。

いろんな虐待がありますが、利用者が無理な事を言って来た時は困りストレスになる事があります。後見人の話は実際利用者に関係があり本人も意見が合わないので悩んでいる方もおられます。

愚行権とても難しいなと思いました。
虐待も私は今まで遭遇した事がないので少しでも違和感があれば報告しようと思います。

愚行権という言葉学びました。本人の意志と、尊重とのバランスを考えて検討しなければならないということが難しいと感じました。

定例会議1月分（権利擁護・福祉の倫理・虐待防止）の感想

愚行権については難しい部分だと感じました。話をしながらお互いに歩みよれば理想ですが簡単にはいかないと思います。会話を丁寧しながら支援していきたいです。

虐待について、後見人制度について学びました。自分であったら最後は好きなように食べて寝たいと思うような気もしますが、その判断が難しいなと感じました。

愚行権を初めて認識しました。安心・安全な生活が最優先なので、それに有害な行いは排除すべきかなと思うのですが、本人の意思もあるし、バランスがむずかしいですね。

本人の意思がはっきりしている場合はそれを反対するのは難しい事になり又止めなければいけないことでも聞いてもらえない事などあり難しい事です。

人間関係の問題もあるように思います。

本人の意思を尊重することを1番に考えて支援していますが、常識的に考えて変えた方がいいと思うことは押し付ける感じではなくふわっと伝えることはあってもなかなか受け入れてはくれない。でもこれからもちゃんと意見としては伝えることが自分の誠実さと思っています。

愚行権について、利用者さんの生活、身体状況にバランスよく考えることが難しく対応も出来るかとも思いました。

仕事をしていく上で本人の意思の尊重と心身の状態、生活状況とのバランスをとれるようヘルパーとして頑張っていきたいと思いました。

5つの虐待防止の最前線で支援している事が、再認識しました。愚行権と、言う言葉も認識出来てよかったです。これらの事をふまえ、支援していきたいと思います。

本人の意思を尊重し心身の状態及び生活の状況の保護のバランスをとるのは難しいかもしれませんが努力して行きたいと思います。

今日は本人の意志尊重と福祉の本人のに対する最善がかち合ったときにどうするかを見つめました。個人意志は尊重すべきですが可能な限り状況説明はすべきかなと思いました。

マナーについて1部ピンと来ない部分がありましたが、今後そういった支援に携わることがあれば気を付けなければいけないという風に感じました。

愚行権について、授業では聞いたことがありましたが、実際のケースを考えると本人の最前の利益のためにどう判断すべきかというのがとても難しく感じます。

定例会議1月分（権利擁護・福祉の倫理・虐待防止）の感想

後見人の方は色々しているのですね

虐待に関して、第一線にいるので本当に普段と何かが違うなということを発信していく必要性があると感じた。

その人を中心とした支援も大事だけれどそこだけではだめで、何事もバランスなんだなーと感じた。

今回の研修で印象に残ったのは愚行についてでした。

答えがない状態でも支援を進めていかなければいけないことはすごく難しいですが、周りの人たちと連携してどんな風に支援していくかバランス取っていけると良い。

1人で考え込まないことが重要だと思いました。

権利と義務 本当に難しいと思いました。自分が居て相手が居て親切のつもりが迷惑！法的支援か自分の思いでの支援なのか葛藤があるように思われます。

今回の研修については、人それぞれに考えがあり取り方によって衝突していることがまさに原因なこれだなと思いました。正解がなく間違いもない。バランスなんだと思いました。コミュニケーションを大切にしながら援助に繋げていきたいなと感じました。

個人個人考え方や捉え方価値観などがある為難しいと思いますが、やはり話し合いなどで落とし所を作るしか無いと思いました。